生活支援サービス等に関する 調査検討報告書

平成29年3月16日理事会提出

公益社団法人我孫子市シルバー人材センター
生活支援サービス事業プロジェクトチーム

§ 目 次 §

はじめに.....	1
I 生活支援サービス事業の経過.....	2
II 平成27年度の取組み	4
1 生活支援サービス事業プロジェクトチーム説明会	4
2 第1回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	4
3 第2回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	5
4 第3回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	6
5 第4回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	7
6 第5回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	8
7 第6回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	9
8 第7回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	10
9 第8回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	11
10 我孫子市生活支援サービス担い手研修.....	12
11 第9回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	13
12 第10回生活支援サービス事業プロジェクト会議.....	14
13 生活支援サービス従事者説明会	14
14 我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業者指定の通知	15

Ⅲ	平成28年度の取組み	16
1	第1回（通算第11回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	16
2	第2回（通算第12回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	16
3	第3回（通算第13回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	17
4	第4回（通算第14回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	19
5	新規指定介護サービス事業者所等説明会	19
6	第5回（通算第15回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	20
7	第6回（通算第16回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	21
8	第1回生活支援サービス・レベルアップ研修会	22
9	第2回生活支援サービス・レベルアップ研修会	23
10	第7回（通算第17回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	23
11	第8回（通算第18回）生活支援サービス事業プロジェクト会議	24
Ⅳ	プロジェクトチー名簿	26
Ⅴ	付録：生活支援サービス事業実務マニュアル	27

はじめに

公益社団法人我孫子市シルバー人材センターは、我孫子市が平成28年4月に介護予防・日常生活支援総合事業を開始することから、この事業への参入を目的として、専門的知識、経験などを持つ会員で組織したプロジェクトチームを組織することとした。

プロジェクトチームの名称は、生活支援サービス事業プロジェクトチームとし、この設置は、平成27年4月23日開催の理事会において承認された。

プロジェクト会議は、平成27年6月25日に第1回が開催され、平成29年1月23日に開催された最後の会議までに、18回が開催された。

このプロジェクト会議が果たした役割は大きく、事業者の指定を受けるまでの準備と、その後のサービス提供に至るまでの間、事業が円滑に進められたのは、プロジェクトチームにおける検討があったればこそと言っても過言ではない。

また、この事業に対しては多くの会員の方の協力があり、市が主催した2日間にわたる担い手研修の会員の参加者は53人に上った。

この報告書は、次のような構成となっている。

「Ⅰ 生活支援サービス事業の経過」では、時系列的に実施した内容を列挙した。

「Ⅱ 平成27年度の取組み」では、プロジェクト会議の概要を中心に、我孫子市介護予防・日常生活支援事業者の指定の通知までを載せた。

「Ⅲ 平成28年度の取組み」では、プロジェクト会議の概要を中心に、質の向上を図るための生活支援サービス・レベルアップ研修会を載せた。

「Ⅳ プロジェクトチーム名簿」そして「Ⅴ 付録」として実務マニュアルを載せた。

今後の課題は、利用者の拡大とこの事業に従事していただける会員の確保、サービスの質の向上を図ることである。

I 生活支援サービス事業の経過

年 月 日	内 容
平成27年	
4月24日	・生活支援サービス事業プロジェクトチーム設置理事会承認
5月19日	・生活支援サービス事業プロジェクトチーム説明会
6月25日	・平成27年度第1回プロジェクト会議
7月27日	・平成27年度第2回プロジェクト会議
8月24日	・平成27年度第3回プロジェクト会議
9月24日	・平成27年度第4回プロジェクト会議
10月19日	・平成27年度第5回プロジェクト会議
11月30日	・平成27年度第6回プロジェクト会議
12月21日	・平成27年度第7回プロジェクト会議
平成28年	
1月18日	・平成27年度第8回プロジェクト会議
2月15日 ～ 16日	} ・我孫子市生活支援サービス担い手研修
29日	
3月25日	・平成27年度第9回プロジェクト会議
27日	・平成27年度第10回プロジェクト会議
28日	・公益社団法人我孫子市シルバー人材センターヘルパー ステーション・シルバーきずな運営規程理事会議決 (4月1日施行)
	・我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号事業者指定申請

I 生活支援サービス事業の経過

3月28日	・生活支援サービス事業従事者説明会（1回目）
29日	・生活支援サービス事業従事者説明会（2回目）
4月1日	・我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号事業者指定
25日	・平成28年度第1回（通算第11回）プロジェクト会議
5月23日	・平成28年度第2回（通算第12回）プロジェクト会議
6月20日	・平成28年度第3回（通算第13回）プロジェクト会議
7月25日	・平成28年度第4回（通算第14回）プロジェクト会議
8月2日	・新規指定介護サービス事業者等説明会（千葉市国保会館）
18日	・生活支援サービス利用者第1号（契約締結）
29日	・平成28年度第5回（通算第15回）プロジェクト会議
9月26日	・平成28年度第6回（通算第16回）プロジェクト会議
10月11日	・生活支援サービス・レベルアップ研修会（1回目）
17日	・生活支援サービス・レベルアップ研修課（2回目）
21日	・生活支援サービス利用者第2号（契約締結）
11月21日	・平成28年度第7回（通算第17回）プロジェクト会議
12月22日	・生活支援サービス利用者第3号（契約締結）
1月23日	・平成28年度第8回（通算第18回・最終）プロジェクト会議
3月16日	プロジェクト会議・調査検討報告書理事会提出

Ⅱ 平成27年度の取組み

1 生活支援サービス事業プロジェクトチーム説明会

日 時 平成27年5月19日（火）午後1時30分～午後2時30分

場 所 センター事務局会議室

出席者 ホームヘルパー2級などの有資格会員8人
片山謙介会長、高橋俊明常務理事、鈴木茂晴事務局長、
石川健二事務局次長

概 要

片山会長のあいさつの後、高橋常務理事からセンターの現状、制度の概要、市の取組み状況、センターの今後のスケジュール、プロジェクトチームに期待することについて説明があった。

最後にプロジェクトチームへの参加の意思を確認したところ、「参加」が6人、「保留」が2人という結果であった。

2 平成27年度第1回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年6月25日（木）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 7人（以下敬称略）
高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、田村茂實、
小島三男、佐藤久子、塙延明、秋山良子（欠席：宗像好江、福田照子）

概 要

当日の会議の次第は次のとおり。

1 委嘱状交付2 メンバー自己紹介3 リーダー・サブリーダー選出について

- 4 今後のプロジェクト会議の進め方について
- 5 最新情報・意見交換
- 6 その他

プロジェクトメンバー9人のうち7人が出席した。

委嘱状の交付、自己紹介の後、メンバーの互選により高橋常務理事をリーダー、澤紙会員をサブリーダーに決定した。

次に、今後のプロジェクト会議の進め方について、開催日を原則として第3月曜日（月に2回開催が必要な場合は第3のほかには第4月曜日）の午後1時30分からとした。

次に高橋リーダーから生活支援サービス事業等の最新情報について報告があり、その後意見交換を行った。

【資料】

- 1 現状、制度の概要、名簿ほか

3 平成27年度第2回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年7月27日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 10人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、田村茂實、宗像好江、小島三男、佐藤久子、福田照子、埴延明、秋山良子
片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

- 1 現状について
- 2 当面の課題について（課題の整理）
- 3 その他

プロジェクトメンバー9人全員出席して、会議が行われた。

メンバー全員が出席したのは今回が初めてだったことから、改めて各自簡単な自己紹介をした後、片山会長からあいさつがあった。

Ⅱ 平成27年度の取組み

議題に入り、最初に高橋リーダーから、平成27年7月14日すみだ産業会館で開催された全国シルバー人材センター事業協会主催の平成27年度福祉・家事援助担当者会議について報告があった。

その中で、流山市シルバー人材センターの取組みについて詳細説明の後、生駒市シルバー人材センターの取組みについて概要説明があった。

質疑応答のあと、意見交換を行った。

次回のプロジェクト会議に、7月28日に予定している我孫子市高齢者支援課担当者との打合せの内容を報告することとした。

【資料】

- 1 新総合事業への挑戦（公益社団法人流山市シルバー人材センター）
- 2 2015新しい介護予防・日常生活支援総合事業のご案内（生駒市）
- 3 全国シルバー人材センター事業協会主催の平成27年度福祉・家事援助担当者会議の資料（回覧）

4 平成27年度第3回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年8月24日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 8人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、田村茂實、宗像好江、福田照子、塙延明、秋山良子、（欠席：小島三男）

片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 市の取組み状況について2 アンケート調査について3 その他

冒頭、片山会長からあいさつがあった。

高橋リーダーから、議題に入る前に、前回の会議の後、佐藤会員から都合によりプロジェクトメンバーを辞退する旨の申し出があったことが報告された。これにより、メンバーは9人から8人となった。

議題に入り最初に、高橋リーダーから、7月18日に行われた高齢者支援課との協議を踏まえて市の現状報告があった。

内容としては、市の取組みに大きな進展はなかった。ただ、先行している流山市においてシルバーを委託契約ではなく指定にしたことから、我孫子市でも指定を検討しているとのことであった。

次にアンケート調査について検討した。

検討の結果、去年の10月に実施した介護保険法改正に伴う生活支援に関するアンケートにおいて、仕事の依頼がセンターからあった場合あなたは引受けますかとの質問に、引受ける、仕事の内容によって引受けると回答した会員に、市が実施する研修を受講するかどうかなどの質問を追加することとした。

また、前回のアンケート調査以降の新規に入会した会員に対しても、前回と同様のアンケート調査を実施することとした。

【資料】

- 1 生活支援サービスに従事可能と回答した方へのアンケート（案）

5 平成27年度第4回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年9月28日（月）午後1時30分～午後2時35分

場 所 センター事務局小会議室

出席者 6人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、秋山良子、（欠席：田村茂實、福田照子）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 我孫子市ほかの取組み状況について2 アンケート調査について3 その他

高橋リーダーから、議題に入る前に、田村会員が退会により、メンバーから外れる旨の報告があった。これにより、メンバーは8人から7人となるが、今後必要に応じて補充していくことを確認した。

議題に入り、高橋リーダーから、この事業に関して、流山市のシルバー人材セ

Ⅱ 平成27年度の取組み

ンター及び我孫子市の状況について次のような報告があった。

流山市については、8月1日からこの事業をスタートさせたが、まだ利用者はいないとのこと。

また、我孫子市からは、センターにこの事業の1時間当たりの単価を設定する際に根拠となるものを教えてほしいとの問合せがあった。市内部の調整に時間がかかりそうであるとの報告があった。

次に、アンケートについては、昨年10月に実施した「介護保険法に伴う生活支援サービス事業に関するアンケート」で、家事援助サービスの仕事の依頼がセンターからあった場合、あなたは引受けますかとの質問に、引受ける又は仕事の内容によって引受けると回答された方を対象に、市が実施する研修を受講することができるか等を聞くアンケート調査を、9月28日に256人の会員に郵送したとの報告があった。

また、第2弾として、昨年10月から今年の9月までに新規の入会者に対して、アンケートを実施するとの説明があった。

今回のプロジェクト会議では、アンケート調査結果に基づき市の研修受講者の選考等を議題とすることとした。

6 平成27年度第5回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年10月19日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局小会議室

出席者 7人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、福田照子、秋山良子

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 我孫子市の取組み状況について2 研修受講者の選考について3 その他

高橋リーダーから、我孫子市の取組み状況について報告のあと、市が実施する研修受講者の選考について検討を行った。

市内を6中学校区に分け、1つの中学校区5人、全体で30人に受講してもらうこととして、候補者を選考した。選考にあたっては、受けられる仕事の内容などを考慮した。また、研修の日は未定であるが、都合のつかない会員もいると見込まれることから、1中学校2人程度の補欠者も選考した。

7 平成27年度第6回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年11月30日（月）午後1時30分～午後2時30分

場 所 センター事務局小会議室

出席者 6人（以下敬称略）

高橋俊明（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、秋山良子、（欠席：福田照子）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 我孫子市の取組み状況について2 サービス提供に向けての準備について3 その他

高橋リーダーから、我孫子市における研修会、報酬の検討の状況及び流山市シルバー人材センターでは4件受注した（後に1件ということが判明。）という旨の報告があった。

次に、サービス提供に向けての準備については、次のような意見があった。

- ・ 生活支援サービスの提供の際、2回目までは複数の会員で行うこと。そのうち一人は経験者とすること。
- ・ 3月に、研修を受講した会員を対象に、説明会を開催すること。
- ・ マニュアルについては、流山市シルバー人材センターではどうしているかを確認すること。

このほか、業務の流れについて検討した。

次回のプロジェクト会議は、12月21日（月）午後1時30分からセンター会議室において開催することとし、説明会の準備についてプロジェクト内で検討することとした。

8 平成27年度第7回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成27年12月21日（月）午後1時30分～午後2時30分

場 所 センター事務局会議室

出席者 7人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、福田照子、秋山良子

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 我孫子市の取組み状況について2 流山市の現状について3 サービス提供に向けての準備について（2）4 ワンコインサービスについて5 その他

高橋リーダーから、「1 我孫子市の取組み状況について」、「2 流山市の現状について（2）」、「3 サービス提供に向けての準備について」、「4 ワンコインサービスについて」次のような説明があった。

- 1 我孫子市の取組み状況について
 - ・ 生活支援サービスの単価は時間当たり1,400円を予定。
 - ・ シルバー人材センターとの実施方法は、指定で行いたい。
 - ・ 初回同行（従事者と訪問事業責任者）訪問した場合は、時間当たり1,400円を加算するよう設定したい。
 - ・ 生活支援サービスの上限は、1人に付き週1回（1回当たり1時間程度）、月4回まで。
- 2 流山市の現状について
 - ・ 現在までで利用者は1人
 - ・ 生活支援サービス従事者向けのマニュアルは作成していない。
 - ・ 市からは、現在実施している家事援助サービスと同じでいいと言われて
 - いる。
 - ・ 初回訪問の際は、担当者のほかセンター職員がケアマネジャーと同行して、利用者に説明している。
 - ・ 利用者とセンターが契約する必要があるということで、契約書と重要事項説明書を作成した。かなりボリュームがある。

- 3 サービス向けての準備について（2）
 - ・ 生活支援サービスの清掃、調理、洗濯など各サービスについてどのような問題が生じるかQ&Aを作成する必要がある。
 - ・ 3月に従事者を対象とする説明会を開催したい。
- 4 ワンコインサービスについて
 - ・ 生活支援サービスだけでは制約があるので、ワンコインサービスのよう補完するサービスが必要となってくる。
 - ・ 今後、会員を対象にワンコインサービスについてアンケートを実施したい。

説明の後、質疑、意見交換を行った。

次回のプロジェクト会議は、1月18日（月）午後1時30分からセンター会議室において開催することとした。

9 平成27年度第8回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年1月18日（月）午後1時30分～午後2時50分

場 所 センター事務局会議室

出席者 7人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、福田照子、埴延明、秋山良子、（欠席：小島三男）
片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 サービス提供に向けての準備について（3）2 ワンコインサービスについて3 その他

高橋リーダーから、各議題について説明があった。

「1のサービス提供に向けての準備について（3）」の（1）説明会については、2回に分けて開催した方がよいということになり、3月28日（月）、29日（火）にシルバー人材センター事務局会議室において開催することとした。内容につい

Ⅱ 平成27年度の取組み

ては、今後検討することとした。

(2) 生活支援サービス担い手研修については、1月18日現在で、通知した70人中47人(うち女性33人)、欠席10人との報告があった。最終的には50人～60人ぐらいになる見込みとの説明があった。

(3) タイムスケジュールについては、流山の指定申請書の実例を参考に説明があった。

また、28年度予算において、ユニホームの作成を検討することとした。(ただし、支給するには、実際にサービスに従事する会員からとするなどの意見があった。)

次に「2のワンコインサービスについて」は、ワンコインでできるかどうかの確認をどうするか、生活支援サービスとは分けて行うのかなど多くの意見が出された。

今回は、2月29日(月)午後1時30分からセンター事務局会議室で開催することとした。

10 我孫子市生活支援サービス担い手研修

日 時 平成28年2月15日(月)午後1時～午後16時
平成28年2月16日(火)午後1時～午後15時45分

場 所 我孫子市消防本部2階会議室

参加者 会員53人、事務局2人(石川健二次長、中嶋一美主任)、(欠席2人)

概 要

この4月から開始される生活支援サービスに従事する要件として、市が主催するこの研修を受講することが必須となっている。

研修の内容は、「総合事業の意義と高齢者の生活支援・介護予防について」、「利用者と接し方について、生活支援サービスの実際について」、「高齢者の特性と暮らしについて」、「認知症の理解と対応について～認知症サポーター養成講座～」からなる座学であった。

シルバー関係者で修了証を授与されたのは54人(1人は体調不良のため途中退席したため保留)であった。

研修終了後、高橋常務理事から3月28日、29日開催予定のセンター主催の生活支援サービス事業の説明会について連絡事項の伝達があった。

1 1 平成27年度第9回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年2月29日（火）午後1時30分～午後3時15分

場 所 センター事務局会議室

参加者 10人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、福田照子、秋山良子、高橋富江、藤本綾子
片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

今回から、新たに高橋富江氏、藤本綾子氏の2人がプロジェクトのメンバーとして参加することとなり、会長から2人に委嘱状が交付された。

これでメンバーの総勢は7人から9人となった。

当日の会議の議題は次のとおり。

1 サービス提供に向けての準備について（4）2 「ワンコインサービス」アンケートについて3 その他

「1のサービス提供に向けての準備について（4）」では、生活支援サービス事業に係る平成28年度予算案について、配分金について（案）、生活支援サービス事業流れ図、3月28日・29日の説明会について、ヘルパーステーション〇〇名候補、「ヘルパーステーション〇〇運営規程（案）」の各資料に基づき、熱心な検討が行われた。

次の、「2の「ワンコインサービス」アンケートについて」は、アンケートの案が示された。

次回の第10回生活支援サービス事業プロジェクト会議は、3月25日（金）午前10時から開催することとした。

後日、澤紙サブリーダーからヘルパーステーションの名称について「きずな」がよいのではないかとの提案があった。

流山市にヘルパーステーションきずなという事業所がすでに存在していたので、シルバーを加えてヘルパーステーション・シルバーきずなとした。

Ⅱ 平成27年度の取組み

1 2 平成27年度第10回生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年3月25日（金）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

参加者 9人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、
小島三男、埴延明、福田照子、秋山良子、高橋富江、藤本綾子
（欠席：宗像好江）

概 要

当日の会議の議題は次のとおり。

1 説明会の進め方・役割分担について2 我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業指定第1号事業指定申請について3 その他

高橋リーダーから、各議題について説明の後、検討を行い、3月28日及び29日に開催する生活支援サービス事業従事者説明会の準備を進めた。

1 3 生活支援サービス事業従事者説明会

日 時 平成28年3月28日（火）及び29日（水）の午後1時30分から午後3時まで

場 所 センター事務局会議室

参加者 ・3月28日 23人 ・3月29日 26人
延47人、参加実人員は43人（ほか事務局職員2人も参加）

概 要

2日間とも、冒頭片山謙介会長のあいさつの後、資料に基づき高橋俊明常務理事から運営基準、サービスの流れ、身体介護と生活援助サービスの違い、配分金等について説明があった。

その後の質疑の回答には、生活支援サービス事業プロジェクトメンバーが加わ

ったほか、メンバーからヘルパーとして従事した時の体験や失敗の話があった。

最後に、高橋常務理事から、参加者に対して訪問型A調査票、秘密保持誓約書、健康診査の結果の写しの提出について協力依頼があった。

また、欠席者については、後日説明会時に配布した資料を送付した。

なお、説明会終了都度、臨時の生活支援サービス事業プロジェクト会議を開催し、説明会の総括等を行った。

1.4 我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業者指定の通知

平成28年3月25日付で市に我孫子市に事業者指定の申請をした結果、市から平成28年3月30日付指令（健高）第639号をもって、市からヘルパーステーション・シルバーきずなを次のように事業者指定する旨の通知があった。

介護保険事業者番号 12A2700015

指定年月日 平成28年4月1日

サービスの種類 訪問型サービスA

指定の有効期間満了日 平成34年3月31日

Ⅲ 平成28年度の取組み

1 平成28年度第1回（通算第11回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年4月25日（月）午後1時30分～午後2時45分

場 所 センター事務局会議室

出席者 9人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、福田照子、秋山良子、高橋富江、藤本綾子

概 要

当日の議題は次のとおり。

1 我孫子市介護予防・日常生活支援総合事業指定事業者指定について（報告）2 業務に係る物品・書類等の整備について3 その他

最初に、高橋リーダーから議題の1については、平成28年3月31日付指令（健高）第639号我孫子市介護予防・日常生活支援事業指定第1号事業者指定通知書をもって、我孫子市長から指定された旨の報告があった。

次に、議題の2については、作業用エプロン、ヘルパー活動記録票及びチラシの作成の検討を行い、次回の会議でさらに詰めることとした。

次回の会議は、5月23日（月）午後1時30分から開催することとした。

2 平成28年度第2回（通算第12回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年5月23日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 7人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、埴延明、秋山良子（欠席：福田照子、高橋富江、藤本綾子）
片山謙介会長（オブザーバー）

概要

当日の議題は次のとおり。

- 1 現状について（報告）
- 2 業務に係る物品・書類等の整備について（その2）
 - （1）作業用エプロンについて
 - （2）チラシについて
- 3 その他

各議題について次のような説明及び検討が行われた。

議題の「1 現状について（報告）」は、高橋リーダーが5月12日午前10時に高齢者支援課を訪問。市からは、海老原主幹、倉田保健師、佐々木介護保険担当が出席。こちらから事前に送付してあった質問書に対する回答（別添「資料1」参照）沿って内容を確認した。

市は6月17日にケアマネジャーの会議を開催し、100人ぐらいの出席者を予定していることから、シルバーきずなのチラシを配布してもらうこととする。

議題2の「業務に係る物品・書類等の整備について（その3）」の「（1）作業用エプロン」については、事務局がよく使う業者から調達できないとの返事が遅く、今回実物が間に合わなかった。改めてネットで発注することとした。

色については検討の結果、グリーン系とブルー系の2種類とすることとした。

「（2）のチラシ」について、6月17日のケアマネジャーの会議に配布するチラシは、専門家に配布することから実用本位の内容で作成することとした。

一般用には、写真を使用したものがよいとなった。

次回のプロジェクト会議は、6月20日（月）午後1時30分から開催することとした。

3 平成28年度第3回（通算第13回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

Ⅲ 平成28年度の取組み

日 時 平成28年6月20日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 9人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、
小島三男、福田照子、埴延明、秋山良子理事、高橋富江
（欠席：藤本綾子）
片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日の議題は次のとおり。

1 現状報告2 業務に係る物品・書類等の整備について（その3）3 研修会の企画について4 その他

議題1の「現状報告」については、高橋リーダーから、6月12日（日）に
あびこ市民活動ステーションで「介護保険制度改正後私たちに何ができるか」を
テーマに開催されたカフェトークにおいて、ヘルパーステーション・シルバー
きずなのチラシを配布し、参加者に事業の簡単な説明を行ったことや、その際の
質疑応答などについて報告があった。

議題2の「業務に係る物品・書類等の整備について（その3）」については、業
者から取り寄せた作業用エプロン（サイズはM～L、色はミントグリーン、サッ
クス）の試着などを行い、その結果、サイズはもう一つ上のLL～3Lも用意し
た方がよい、色は男性用にネイビーもよいとなった。

議題3の「研修会の企画について」は、9月または10月に市の研修受講会員
を対象に、レベルアップ研修を実施することが諮られた。実施回数は2回がよい
となった。内容の詳細については、次回までにたたき台を作成して、それを基に
検討することとした。

次回のプロジェクト会議は、7月25日（月）午後1時30分から開催するこ
ととした。

4 平成28年度第4回（通算第14回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年7月25日（月）午後1時30～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 高橋俊明チームリーダー、澤紙利夫サブリーダー、小島三男、埜延明、秋山良子理事、高橋富江、（欠席：宗像好江、福田照子、藤本綾子）

概 要

当日の議題は次のとおり。

1 現状報告2 研修会の企画について（その2）3 その他

各議題について次のような説明又は検討が行われた。

議題の「1 現状報告」については、高橋リーダーから7月14日から7月20日の間に、市内4か所の地域包括支援センター（布佐・新木地区、湖北・湖北台地区、天王台地区、我孫子地区）を訪問した。そこで、あいさつ、ヘルパーステーション・シルバーきずなのチラシの設置依頼、及び各地区の現状について聞き、ヘルパーステーション・シルバーきずなへの認識を深めてもらったとの報告があった。

議題の「2 研修会の企画について（その2）」については、開催は2回、1回の開催時間は2時間程度、会場は、1回は利便性を考慮して市民プラザ内の会議室、1回はセンター会議室で開催することとした。講義内容は初心者にも分かりやすい内容とし、生活援助サービスの個々の留意点についてなどがよいということになった。講師としては、プロジェクトメンバーの秋山良子氏、高橋富江氏に担当してもらうことにした。

次回のプロジェクト会議は、8月29日（月）午後1時30分から開催することとした。

5 新規指定介護サービス事業所等説明会

日 時 平成28年8月2日（火）午後2時～午後3時40分

Ⅲ 平成28年度の取組み

場 所 千葉県国保会館4階第1会議室（千葉市）

参加者 高橋俊明常務理事、石川健二事務局次長

概 要

千葉県国民健康保険団体連合会の主催による新規指定介護サービス事業所を対象にした説明会に、当センターから2人が参加した。

同連合会の介護保険課長ほか2人の職員から、介護給付等の請求事務について、説明会資料（介護給付等の請求事務に関すること）に沿って、説明があった。

6 平成28年度第5回（通算第15回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年8月29日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局小会議室

出席者 7人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、宗像好江、小島三男、秋山良子理事、高橋富江、（欠席：塙延明、福田照子、藤本綾子）

片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日の議題は次のとおり。

1 現状報告2 業務に係る物品・書類等の整備について（その4）3 研修会の企画について（その3）4 その他

議題1の「現状報告」については、高橋リーダーから、8月18日（金）にシルバーきずなの利用者第1号となる契約を締結して、8月24日（水）からサービスの提供を開始したとの報告があった。

議題2の「業務に係る物品・書類等の整備について（その4）」は、訪問型サービスA個別サービス計画書及び訪問型サービス提供記録票の様式について検討を

行い、実際に使用してみて、使い勝手の悪い点については随時改良していくこととした。

議題3の「研修会の企画について(その3)」については、レベルアップ研修会を10月11日(火)(会場は我孫子市民プラザ第1会議室)、10月17日(月)(会場はセンター会議室)の両日午後1時半ごろから2時間程度で開催することとした。開催通知は9月初旬に出すこととした。

また、研修会のテキストについて検討を行い、プロジェクトメンバーの秋山会員、高橋会員が講師を務めることとした。

その他では、シルバーきずなの周知を図るため、過去2年程度の間シルバーの仕事を利用した顧客を対象とした業務開始の紹介文書について検討した。

次回のプロジェクト会議は、9月26日(月)午後1時30分から開催することとした。

7 平成28年度第6回(通算第16回)生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年9月26日(月)午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 7人(以下敬称略)

高橋俊明チームリーダー、澤紙利夫サブリーダー、小島三男、埜延明、福田照子、秋山良子理事、高橋富江、(欠席:宗像好江、藤本綾子)

概 要

当日の議題は次のとおり。

1 現状報告2 生活支援サービス・レベルアップ研修会について3 その他

議題の「1現状報告」については、高橋リーダーから①10月1日に、現在シルバーきずなのサービスを利用している方のケア会議が開催されるので、高橋常務と石川事務局次長が出席する予定であること、②新たに作成する市の介護サー

Ⅲ 平成28年度の取組み

ビス事業者紹介冊子に、当センターのヘルパーステーション・シルバーきずなの情報が掲載されること、③作業時にエプロンを15枚発注したことが報告された。

議題の2「生活支援サービス・レベルアップ研修会」については、現時点での出席予定者数が報告され、当日の講座の進め方などを確認したほか研修会終了後臨時のプロジェクト会議を開催することなどが決まった。

また、福田会員から、今回サービス提供に従事したことを踏まえて、報告があった。

8 第1回目生活支援サービス・レベルアップ研修会

日 時 平成28年10月11日（火）午後1時35分～午後3時35分

場 所 我孫子市民プラザ会議室1

参加者 17人

うちプロジェクトメンバー5人（高橋俊明リーダー、澤紙利夫サブリーダー、小島三男会員、秋山良子理事、高橋富江会員）

概 要

当日の研修会の日程は次のとおり。

1 あいさつ
2 現状報告
3 生活支援サービス・レベルアップ講座

高橋常務理事から、あいさつ及び現状報告としてヘルパーステーション・シルバーきずなの受注状況などの説明があった。

講座は、秋山理事及び高橋（富）会員が講師となって、ヘルパーの服装のほか掃除及び買い物の注意点など、実務に即した内容で座学形式により行われた。

研修会終了後、臨時の生活支援サービスプロジェクト会議を開催し、研修会の総括を行った。また、11月のプロジェクト会議を21日（月）午後1時30分からセンター会議室で行うこととした。

9 第2回目生活支援サービス・レベルアップ研修会

日 時 平成28年10月17日（月）午後1時30分～午後3時30分

場 所 センター事務局会議室

参加者 15人

うちプロジェクトメンバー5人（高橋俊明リーダー、福田照子会員、
埴延明、秋山良子理事、高橋富江会員）

概 要

当日の研修会の日程は次のとおり。

1 あいさつ
2 現状報告
3 生活支援サービス・レベルアップ講座

片山謙介会長のあいさつ後、高橋常務理事から現状報告としてヘルパーステーション・シルバーきずなの受注状況などの説明があった。

講座は、秋山理事及び高橋（富）会員が講師となって、ヘルパーの服装のほか掃除及び買い物の注意点など、実務に即した内容で座学形式により行われた。

研修会終了後、臨時の生活支援サービスプロジェクト会議を開催し、研修会の総括や実務を踏まえて課題整理などを行った。

10 平成28年度第7回（通算第17回）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年11月21日（月）午後1時30分～午後3時

場 所 センター事務局会議室

出席者 6人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、小島三男、
福田照子、埴延明、秋山良子理事（欠席：宗像好江、高橋富江、藤本綾子）

概 要

当日の議題は次のとおり。

Ⅲ 平成28年度の取組み

- 1 現状報告
- 2 プロジェクト調査研究報告書について
- 3 その他

議題1の「現状報告」は、福田会員と秋山理事から現在それぞれが担当しているサービス提供の現状について報告があり、これに基づき意見交換を行った。

議題2の「プロジェクト調査研究報告書について」は、高橋リーダーから素案の説明があった。この報告書の取扱いについては、次回のプロジェクト会議で承認をもらい、2月の理事会に報告するという事と了承された。

また、要綱上、メンバーの任期は報告書を作成し、理事会に提出するまでの間とすとなっているので、次回のプロジェクト会議が最後になるとの説明があった。

議題3の「その他」は、ワンコインサービスについて意見交換を行った。

次回のプロジェクト会議は、1月23日（月）午後1時30分からセンター事務局会議室で開催することとした。

1.1 平成28年度第8回（通算第18回・最終）生活支援サービス事業プロジェクト会議

日 時 平成28年1月23日（月）午後1時～午後3時30分

場 所 センター会議室

出席者 8人（以下敬称略）

高橋俊明常務理事（リーダー）、澤紙利夫（サブリーダー）、小島三男、福田照子、埴延明、秋山良子理事、高橋富江、（欠席：宗像好江、藤本綾子）片山謙介会長（オブザーバー）

概 要

当日のプロジェクト会議の議題は次のとおり。

- 1 現状報告
- 2 プロジェクト調査研究報告書について
- 3 その他

高橋リーダーから、「1の現状報告」については、1月に1件新たに利用者があり、合計3件となったこと。「2のプロジェクト調査研究報告書について」は、報

告書に付録として「生活支援サービス事業実務マニュアル」を付け、2月の理事会に報告すること、また、報告書の校正についてはリーダー一任ということでした承された。

その他では、今回の会議がプロジェクトチームとしては最後となることから、今後は1年に1回程度、サービス提供責任者会議を開催することが了承された。

そのほか、ケアマネジャーとの係り方や利用者を増やすための方法について意見交換がなされた。また、今後利用者が増えた場合は、できるだけ多くの会員に仕事を配分していくことも確認した。

IV プロジェクトチーム名簿

会員番号	氏 名	備 考
2079	澤紙 利夫	サブリーダー
2164	宗像 好江	
2311	小島 三男	
3004	高橋 俊明	リーダー・常務理事
3101	福田 照子	
3164	塙 延明	
3185	秋山 良子	理事
3292	高橋 富江	平成27年第9回会議から
3317	藤本 綾子	平成27年第9回会議から
1856	田村 茂實	平成27年第4回会議まで
2917	佐藤 久子	平成27年第2回会議まで
1504	片山 謙介	オブザーバー・会長

付録

生活支援サービス事業実務マニュアル

(生活支援サービス事業プロジェクトチーム編)

公益社団法人 我孫子市シルバー人材センター

1 はじめに

このマニュアルは、ケアマネジャー等からヘルパーステーション・シルバーきずな（以下「きずな」という。）に仕事の依頼があつてから、その後の利用者へのサービスの提供、国保連合会までの請求などについて実務の流れに沿って解説したものである。

要支援者のケアプランは、原則として市から委託を受けた各地区4か所にある高齢者なんでも相談室が作成することになっている。しかし、実際には、ケアプランの半分程度は民間の居宅介護支援・介護予防事業所が作成している。

名 称	住 所・電話番号	運営母体
我孫子市我孫子地区高齢者なんでも相談室	我孫子市我孫子4-5-28（山長第6ビル1階） ☎04-7179-7360	社会福祉法人生活クラブ
我孫子市天王台地区高齢者なんでも相談室	我孫子市柴崎台4-5-13（クオリティヒル大塚1階） ☎04-7182-6777	社会福祉法人栄興会
我孫子市湖北・湖北台地区高齢者なんでも相談室	我孫子市湖北台1-12-19 ☎04-7189-0294	社会福祉法人瑞邦会
我孫子市布佐・新木地区高齢者なんでも相談室	我孫子市布佐平和台4-1-1 ☎04-7189-0294	社会福祉法人アコモード
【参考】我孫子市高齢者なんでも相談室	我孫子市我孫子1858（西別館3階・高齢者支援課） ☎04-7185-1112	我孫子市

2 契約までの流れ

(1) 打診

最初に、きずなに高齢者なんでも相談室（市内4事業者）または居宅介護支援・介護予防支援事業所（市内28事業者）のケアマネジャー（介護支援専門員）など（以下「ケアマネ」という。）から引受けられるかどうかの打診がある。

ポイント

その際は、利用者の氏名、住所、年齢、性別などの個人情報のほかに、希望するサービスの種類、希望曜日、ヘルパー（男性か女性か）の希望などを確認する。→受注表の作成

(2) 担当するヘルパー探し

依頼については、原則、引受けるとし、担当するヘルパーを探す。

ポイント

従事者名簿（エクセルで作成）から、利用者の居住する地区の中学校区を目安として、利用者との距離やできるサービスなどのデータを参考にしながら候補となるヘルパーを探す。

- * 曜日は、場合によってはヘルパーの都合を考慮してもらうことも可能である。
- * 初回訪問時までに、サービス提供責任者の中から、同行訪問できるヘルパーを探す。

(3) 担当者会議～重要事項説明書の説明及び契約の締結～

ケアマネから担当者会議の日時と場所の連絡がある。（会議の場所は、原則として利用者自宅で行われる。）担当者会議には、担当ケアマネと現在利用されているサービス提供事業者の担当者が参加する。

きずなからはサービス提供責任者が参加する。この際、担当するヘルパーの同席は必要ない。（ただし、ヘルパー本人から希望があれば、同席は差支えない。）

当日、次のような段取りで契約を締結する。

ポイント

- 1 重要事項説明書の説明
- 2 支払い方法を確認し、主治医、緊急連絡先を聞き記入する。理解されたか、質問はないかを本人に確認後、住所、氏名を記載の上、押印してもらう。
- 3 契約書の説明
- 4 本人了承の上、住所、氏名を記載の上、押印してもらう。
- 5 このほか、介護保険証の番号、要支援度、連絡先の電話番号を確認する。

また、ケアマネから「介護予防サービス・支援計画表ケアプラン」を受け取る。

3 サービスの提供

(1) 初回訪問

初回訪問時までに、介護予防サービス・支援計画表ケアプランに沿って、訪問型サービスA個別計画表を作成する。

初回訪問には、きずなから個別計画作成者、ヘルパー、同行ヘルパーの少なくとも3人は訪問することになります。

ポイント

ヘルパーが作業中に、個別計画の作成者は、利用者に訪問型サービスA個別計画表を説明し、同意書名欄にサインをもらう。

* 同行訪問のヘルパーが見つからない場合は、事務所からサービス提供責任者と担当ヘルパーの2人でも可能。

(2) 生活支援サービスの流れ

ア サービスの準備等

サービスの準備は、家事援助サービスを提供する際の事前準備等として行う行為であり、状況に応じて次のようなサービスを行う。

(ア) 健康チェック

利用者の安否確認、顔色等のチェック

(イ) 環境整備

換気、室温・日当りの調整等

(ウ) 相談援助、情報収集・提供

(オ) サービス提供後の記録等

イ 掃除

- ・居室内やトイレ、卓上等の清掃
- ・ゴミ出し
- ・準備・後片付け

ウ 洗濯

- ・洗濯機または手洗いによる洗濯
- ・洗濯物の乾燥（物干し）
- ・洗濯物の取入れと収納
- ・アイロンがけ

オ ベットメイク

- ・利用者不在のベッドでのシーツ交換、布団カバーの交換等

カ 衣類の整理・被服の補修

- ・衣類の整理（夏・冬物等の入れ替え等）
- ・被服の補修（ボタン付け、破れものの補修等）

キ 一般的な調理、配下膳

- ・配膳、後片づけのみ
- ・一般的な調理

ク 買物・薬の受け取り

- ・日用品等の買い物（内容の確認、品物・釣り銭の確認を含む）
- ・薬の受け取り

ポイント

- あいさつは、明るくはっきりと
- 作業の前に、一つひとつ利用者本人からやり方などの確認をすること
- 利用者との信頼関係を第一に
- 常に服装や言葉使いに気をつけ、笑顔を忘れず、仕事上知り得た他人の秘密は絶対に口外しないこと

(3) 訪問型サービス提供記録票

ア 訪問型サービス提供記録の作成

事務所のサービス提供責任者は、初回であれば、初回訪問の前までに、通常であれば月末までに、ケアマネが作成したサービス提供票に基づき、訪問型サービス提供記録票を作成します。

ポイント

- 作成した訪問型サービス提供記録票は、初回訪問であれば、その時に担当ヘルパーに渡す。
- 例月であれば、月末までに、作成したものを担当ヘルパーに郵送する。その際、参考にケアマネが作成したサービス提供票を同封する。

イ サービス提供後にヘルパーは

ヘルパーは作業終了後に、訪問型サービス提供記録票（お客様用及びヘルパー用）にサービス提供時間（開始時間及び終了時間）を記入し、ヘルパー印を押す。

ポイント

サービス提供時間の記入と、ヘルパー印、利用者確認印を忘れずに

ウ 特記事項について

特記事項には、特に記載すべき事項やケアマネに読んでもらいたいことなどを記載します。（なければ空欄でもOK。）

エ 提出は

完了した訪問型サービス提供記録票は、月末までにセンターに提出する。

ポイント

最後の週の仕事の完了後に、できるだけ速やかに提出してもらうこと。

4 配分金について

(1) 基本額は、1時間当たり1,100円

(2) 加算

ア サービス提供責任者として従事した場合は100円/1回（同行訪問など）

イ 現金を取り扱った場合100円/1回

ウ 学区外から従事した場合100円/1回

5 国保連合会への請求

国保連合会への請求は月初めの10日までに、紙ベースで請求する。

記入については、介護事業所のための介護給付費請求の手引き（うちの「介護予防・日常生活支援総合事業の請求書等記載要領」）を参考にすること。

6 利用者負担金

(1) 利用料は1,400円/1時間、初回加算も1,400円。利用者負担金として、所得に応じてその1割または2割を自己負担する。

(2) 利用者負担金は、原則として、サービス提供の翌月の最初の訪問時に利用料及び振込の場合は振込手数料を徴収します。

- (3) ヘルパーは、郵便局のATMにより、振込用紙（振込用紙には利用者の住所氏名を記載する）で振込みます。

7 ケアマネに

訪問型サービス提供記録票がヘルパーからセンターに提出されしだい、その写しをケアマネに送付する。（期日厳守のこと。）

ポイント

訪問型サービス提供記録票は、できれば月末までに送付する。（遅れると催促がある。）

8 アフタフォロー

初回訪問から概ね1月後に「サービスに関する評価」を行う。その後は概ね6月ごとに評価を行う。サービスに関する評価を作成後はケアマネに写しを送付する。

受注表

生活支援サービス受注書

No. 1

		受 付 者		
受 付 年 月 日				
利 用 者	氏 名		性別	男・女
	生年月日	年 月 日	年齢	歳
	住 所			
	連 絡 先			
利用希望開始日	年 月 日から			
包括支援センター名（居宅支援事業者名）	担 当 者			
	連 絡 先			
担当ヘルパー名	会員番号		氏 名	
	連 絡 先			
メ モ				

個別サービス計画書

事業所名 公益社団法人我孫子市シルバー人材センター
ヘルパーステーション・シルバーきずな

訪問型サービスA個別サービス計画書

	計画作成者 氏 名		作 成 年 月 日	平成 年 月 日
利用者 氏 名		男	生 年 月 日	年 月 日
		女	要 介 護 度	要支援1・2 ()
住 所			電 話	- -

【援助目標】【期間 年 月 日～ 年 月 日 (月間)】

--

【本人及び家族の意向・希望】

--

【援助内容】

No.	サービス 提供曜日	曜日	サービス 提供時間	: ~ :	
サ ー ビ ス 1	サービス区分	サービス内容		所要時間	留意事項
	<生活援助>			分	
	<生活援助>				
	合計時間			分	

No.	サービス 提供曜日	曜日	サービス 提供時間	: ~ :	
サ ー ビ ス 2	サービス区分	サービス内容		所要時間	留意事項
	<生活援助>				
	<生活援助>				
	合計時間				

V 付録：生活支援サービス事業実務マニュアル

No.	サービス提供曜日	曜日	サービス提供時間	：	～	：
サービス3	サービス区分	サービス内容		所要時間	留意事項	
	<生活援助>					
	<生活援助>					
	合計時間					

No.	サービス提供曜日	曜日	サービス提供時間	：	～	：
サービス4	サービス区分	サービス内容		所要時間	留意事項	
	<生活援助>					
	<生活援助>					
	合計時間					

【週間予定表】

曜日 時間	時間	月	火	水	木	金	土	日
： ～ ：	分							
： ～ ：	分							
： ～ ：	分							
： ～ ：	分							

上記の訪問型A個別サービス計画に基づきサービス提供を行います。

説明日	年 月 日	説明者
公益社団法人我孫子市シルバー人材センター ヘルパーステーション・きずな 連絡先：04-7188-2200		利用者 同意署名欄

(様)

【サービス提供に関する評価】

(目標達成度)	評価を行った日 平成 年 月 日
(利用者満足度)	評価を行った日 平成 年 月 日
(計画見直の必要性)	評価を行った日 平成 年 月 日

V 付録：生活支援サービス事業実務マニュアル

サービス提供記録票

平成 年 月 分

訪問型サービス提供記録票（ヘルパー用）

介護保険 被保険者 番号										ご利用者 氏 名	事業所番号 12A2700015
利用者 負担割合	割	支払方法	振込 現金								事業者及 び事業所 公益社団法人我孫子市シル バー人材センター ヘルパーステーション・シル バーきずな

日 付	曜 日	サービス内容	介護予防 ケアプラン (開始時間～ 終了時間)	サービス 提供時間 (開始時間～ 終了時間)	利用料		ヘルパー		利用者 確認印
					代理受領 支給額	利用者 負担	氏 名	印	
			：	：	円	円			
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
合 計			計画回数	提供回数			/		
			うち初回	うち初回					

特 記 事 項	
---------	--

【事務処理欄】

会員番号	会員名	加算の種類	基本	加算①	回数	加算②	合計	備考
		学区外・料金受領・責任者						
		学区外・料金受領・責任者						
		学区外・料金受領・責任者						
		学区外・料金受領・責任者						

局長	次長	担当

V 付録：生活支援サービス事業実務マニュアル

平成 年 月 分 訪問型サービス提供記録票（お客様用）

介護保険 被保険者 番号										ご利用者 氏 名	事業所番号 12A2700015
利用者 負担割合	割	支払方法	振込 現金								事業者及 び事業所 公益社団法人我孫子市シル バー人材センター ヘルパーステーション・シル バーきずな

日 付	曜 日	サービス内容	介護予防 ケアプラン (開始時間～ 終了時間)	サービス 提供時間 (開始時間～ 終了時間)	利用料		ヘルパー		利用者 確認印
					代理受領 支給額	利用者 負担	氏 名	印	
			：	：	円	円			
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
			：	：					
			～	～					
合 計			計画回数	提供回数					
			うち初回	うち初回					

特 記 項	
-------	--

【連絡先】

公益社団法人我孫子市シルバー人材センター
ヘルパーステーション・シルバーきずな

〒270-1121 我孫子市中峠2607
TEL 04-7188-2200

請求書・領収書

平成 年 月 日

様

請求書

金額

但し 平成 年 月分 生活援助サービス利用代として(訪問型サービスA)

援助内容ー

利用回数ー計 回利用

請求内訳ー1,400円× 回×0.1(自己負担割合)+振込手数料80円＝ 円

上記のとおり請求いたします。

〒270-1121
千葉県我孫子市中峠2607番地
公益社団法人
我孫子市シルバー人材センター
会長 片山 謙介
電話番号04-7188-2200

平成 年 月 日

様

領収証

印紙税法
第5条によ
り非課税

金額

但し 平成 年 月分 生活援助サービス利用代として(訪問型サービスA)

援助内容ー

利用回数ー計 回利用

上記正に領収いたしました。

〒270-1121
千葉県我孫子市中峠2607番地
公益社団法人
我孫子市シルバー人材センター
会長 片山 謙介
電話番号04-7188-2200